



中須賀克行がレース1・レース2でダブルポール! 3年連続5回目の王者に向けて盤石か!? 高橋巧は、両レースとも予選4番手から逆転を狙う!!

ついにシリーズ最終戦を迎えた全日本ロードレース選手権。MFJ-GPは、ボーナスポイントが3ポイントつき2レース制で争われるJSB1000クラスは最大56ポイントを獲得できる。今回は、事前テストがなかったこともあり木曜日から特別スポーツ走行が設けられ通常より1日多いレースウィークとなっている。木曜日から金曜日の1本目までは、ほぼドライコンディション、金曜日の2本目は中途半端なウェットとなっていた。

そして土曜日は、朝から雨模様となりウェットコンディションで公式予選が行われた。今回もノックアウト方式となったがQ1でレース1のグリッドが、Q2に進出したトップ10のみレース2のグリッドが決まることになるため、上位陣もQ1から気を抜けない予選となっていた。それぞれセッション終盤に水しぶきを上げながらタイムアタックを行い、トップタイムを記録したのはゼッケン1をつける中須賀克行だった。中須賀は、ただ一人2分18秒台に入れる速さを見せつけた。これに加賀山就臣が2分19秒台、藤田拓哉が3番手に食い込み初のフロントロウを獲得。暫定ランキング2番手につけている高橋巧は4番手となった。トップ10チャレンジのボーダーラインは、野左根航汰、今野由寛、出口修の3台で争われ、最後のアタックで出口が10番手にすべり込み、今野と野左根がノックアウトされている。

15分間で争われたQ2は、開始早々に加賀山が110Rでクラッシュし戦線を離脱。ここでも中須賀が速さを見せつけダブルポールを決めた。「今のところ、やるべきことをやってきているし、心地よいプレッシャーの中で楽しめて走ることができます。もちろん両レースとも勝つつもりで臨みますよ」と中須賀。一方、タイトルを争う高橋は「決して満足はしていませんがウェットコンディションで精一杯走った結果です。決勝はドライになることを信じていますし、ドライなら初日に7秒3まで出ていますし、いいレースができていると思います。2レースとも勝ちを狙っていきますよ」とコメント。2レースとも中須賀の後ろとなる4番手グリッドからスタートする。

レース1の予選2番手に食い込んだ加賀山はQ2で転倒はあったものの今シーズン最高の仕上がりとなっていると言う。スタートダッシュには定評があるだけにホールショットからトップを走る可能性があるだろう。レース2の予選2番手となった山口も調子を上げてきている。Q1では、予選タイムを出そうとニュータイヤを入れてアタックするがフィーリングが違ったため、あわやノックアウトというシチュエーションもあったが7番手に食い込む。Q2ではセッティングが進み、中須賀に肉薄するタイムをマークしている。ドライでもタイムが出ているだけにトップ争いに絡んできそう。そして両レースで予選3番手と

なった藤田の健闘が光った。金曜日の2本目もトップタイムをマークするなどウェットで速さを見せていただけに予選でも上位に来ると思われていたが、その通りの走りを披露。積極的に攻めて行く姿勢は、評価に値するものだった。「初めてフロントロウに並ぶので、いつもと景色が違うと思います。スタートがうまくないので中須賀さんの前に出るつもりで、いいスタートを切りたいですね」とレースでも積極的な走りを見せてくれそう。

今シーズン、ケガに泣かされたTeam GREENの柳川明、渡辺一樹もドライになればトップ争いに加わってくるだろう。ヨシムラの津田拓也もかりだ。

ドライコンディションとなればタイトルを争う中須賀と高橋を中心に、加賀山、山口、柳川、渡辺、津田と行った面々がトップ争いを繰り広げそう。ウェットで魅せた藤田や鈴鹿レーシングの安田毅史、今野や野左根、スポット参戦のジョシュ・フックなども、どこまで上位に絡んでくるか注目したいところだ。

レース1、レース2とも、それぞれ15周で争われる。何と言っても中須賀と高橋のタイトル争いの行方に注目が集まるところだ。中須賀が3年連続5回目の王者に輝くのか!? それとも高橋が初タイトルを獲得するのか!? 栄冠をつかむのは果たして!? 運命の決戦は間もなくスタートする。

(佐藤寿宏)



QUALIFYING PRACTICE Pole Position INTERVIEW

ポールポジション [Race 1]: 2'18.697
[Race 2]: 2'19.803

#1 中須賀克行

ヤマハYSレーシングチーム



『日本GPから先週までYZR-M1に乗っていて、R1にはこのウイークからの乗り換えだったので、木曜日から走行があつて助かりました。木曜と金曜でドライでもしっかり走れて問題ないことを確認できたし、雨は苦手意識もあつたのですが、走るたびにタイムも上げられ、いいリズムで走れたことがよかったと思っています。決勝レースは天候も回復傾向のようですし、予選とは違った展開になると思いますが、2010年に達成できなかったV3の2回目のチャンスを今回再び迎えられるので、成長した自分のやるべきことをやり切れば結果はついてくると思います。2レースとも勝つつもりで、しっかり集中して走り切りたいと思います』

公式予選正式結果(決勝Race1)

●予選: 天候 / 雨 路面 / ウェット 出走34台
●決勝[Race1]スタート進行 / 11:00 (15周)

Pos	No.	Rider	Team	Time
1	1	中須賀 克行	ヤマハ YSPレーシングチーム	2'18.697
2	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	2'19.267
3	33	藤田 拓哉	PATLABOR DOGFIGHTER YAMAHA	2'20.070
4	634	高橋 巧	MUSASHI RTハルクトロ	2'20.422
5	87	柳川 明	TeamGREEN	2'20.496
6	26	渡辺 一樹	TeamGREEN	2'20.513
7	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	2'20.639
8	20	安田 毅史	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'20.847
9	12	津田 拓也	ヨシムラスズシールドアドバンス	2'21.110
10	1	出口 修	シナジーフォース TRICK STAR	2'21.326
11	32	今野 由寛	MOTOMAPSUPPLY	2'21.333
12	31	野左根 航汰	NTSチームノリックヤマハ	2'21.580
13	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	2'21.987
14	111	Josh Hook	F.C.C.TSR Honda	2'23.017
15	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	2'23.573
16	39	酒井 大作	CONFIA Flex Motorrad39	2'24.257
17	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	2'25.694
18	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	2'25.707
19	75	武石 伸也	CONFIA Flex Motorrad39	2'26.883
20	28	小島 一浩	Honda熊本レーシング	2'27.148
21	16	中村 知雄	チームトモマサ	2'28.425
22	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	2'28.618
23	34	田村 武士	テイクアップOIRF	2'28.650
24	66	大内田 実	DOGFISHオーテックスズカ	2'28.669
25	18	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路	2'29.711
26	14	清水 郁巳	ホンダドリーム高崎B'WISE R-T	2'29.816
27	77	筒井 伸	DOGFISHオーテックスズカ	2'30.006
28	80	樋口 耕太	H.L.O RACING	2'30.200
29	21	西中 綱	HondaDREAM RT和歌山	2'30.320
30	54	大橋 靖洋	HondaブルーヘルメットMSC 熊本	2'30.924
31	41	清水 祐生	浜松チームタイタン	2'31.600
32	61	森 健祐	HondaブルーヘルメットMSC 熊本	2'33.069
33	95	今津 比呂志	プラスワンMCRT&ソーラーいちばん	2'33.192
34	42	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	2'33.244
以上予選通過車両:				
35	30	井上 健志	炎R	2'36.526
36	69	犬木 翼	浜松チームタイタン	2'36.870
予選通過基準タイム (110%)				2'33.279

★JSB1000[Race1]のスターティンググリッドは、ノックアウト公式予選Q1にて記録されたタイム順となります。

注目のタイトル争いの行方は?

●2014年全日本選手権各クラスランキング上位
(第7戦岡山国際大会終了時の暫定)

JSB1000

Pos.	No.	Rider	Total	Race1	Race2
1	1	中須賀 克行	134		
2	634	高橋 巧	127		
3	12	津田 拓也	94		
4	87	柳川 明	88		
5	104	山口 辰也	84		
6	71	加賀山 就臣	82		
7	26	渡辺 一樹	82		

J-GP2

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	72	高橋 裕紀	115	
2	2	生形 秀之	100	
3	634	浦本 修亮	97	
4	47	渡辺 一馬	68	
5	7	Decha KRAISART	68	

ST600

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	24	小林 龍太	102	
2	65	Chalermpol POLAMAI	95	
3	33	岡村 光矩	70	
4	7	岩崎 哲朗	69	
5	3	大崎 誠之	62	

J-GP3

Pos.	No.	Rider	Total	Race
1	1	山田 誓己	107	
2	634	水野 涼	101	
3	67	鳥羽 海渡	70	
4	7	徳留 真紀	66	
5	33	作本 輝介	65	

●全日本ロードレース選手権ポイント

優勝 (25) 2位 (22) 3位 (20) 4位 (18) 5位 (16)
6位 (15) ...以下20位まで1点刻み...20位 (1)

※MFJ-GPでは、各順位にボーナスポイント3点がそれぞれ加算



小室旭がJ-GP3クラス初のポールポジション!! 「高いレベルで楽しみながらレースをしたい」



ポールポジション: 2'33.966

#56 小室旭

テルル&Y!★KoharaRT

ST600に続いて行なわれたJ-GP3の公式予選セッション。雨はますます激しくなり、ピットロードにも川が流れるほど。その中でも各ライダーとも果敢に責め、タイムアタックを展開していく。伊達悠太、小室旭、菊池寛幸、宇井陽一、鳥羽海渡、作本輝介、岩戸亮らが上位で順位を入れ替えていく。セッションが進むに連れて雨も激しくなるが、中盤には小室が2分33秒966に入れて、その時点で35秒852でトップだった作本からトップを奪う。9位前後だった山田誓己も一気にタイムアップし3

番手まで浮上してきた。

そして雨はさらに激しくなる中、作本は再びアタック、区間タイムでベストを更新しながら西ストレートを通過した時に赤旗が提示されるというパッドタイミング。再開後は雨がますます激しくなる中、各ライダーが走行を続けるが、上位陣ではタイムアップするライダーは現れず、小室がJ-GP3クラス初のポールポジションを獲得した。2番手は作本、3番手山田までがフロントロウ、菊池、宇井のベテランが続き、鳥羽が6番手となった。

『去年からレギュレーションで変わっている部分があるので、その確認から始めたてフィーリングは悪くなかったのですが130Rで転倒してしまいマシンにダメージを受けてしまいました。身体も痛かったのですが、調子が悪い中での転倒ではなかったのでポジティブに考えていました。天候が崩れることも想定していたのですが、ドライのセットアップを進めることがウェットでも安定して走れることだと分かっていた。決勝は天気が回復しそうなので、楽しいだけではなく、苦しいだけではないレベルの高いところで楽しめるレースをしてトップでゴールできればいいですね。ただ、若いライダーも速いので精一杯やるだけです』

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀、激しい雨のアタックを制する! 「晴でも雨でも最初から全開全力でいきます!」



ポールポジション : 2'23.400
#72 高橋裕紀
MORIWAKI RACING

J-GP2クラスの公式予選はますます激しくなる雨、そして悪化するコースコンディションの中で始まった。開始早々に転倒車が発生し、10分を経過した頃に1コーナーで転倒がありで赤旗が提示されて一旦中断。赤旗の前は高橋裕紀がトップ、星野知也、岩田悟の順だった。再開後早々に1コーナーでデチャ・クライサーが転倒するなど、荒れた展開も見られた。

その中でセッションの中盤以降は、各ライダーのハイレベルなレインコンディションでのアタックが見

られた。トップは高橋で2分30秒739。星野、渡辺一馬、原田武人、亀谷長純、生形秀之と続く。まず岩田が30秒099でトップを奪うと、星野が29秒に入れてトップに立ち、すぐに渡辺がトップを奪う。再び星野が27秒台で逆転するが、今度は生形が26秒台に入れてトップに立つ。そして高橋が25秒747で一気にトップに返り咲くと、岩田が再びトップ、高橋、生形と目まぐるしく塗り替えられるトップタイムだったが、最終的に高橋が23秒400をマークして今季4度目のポールポジションを獲得した。

『今回は木曜の走行からドライコンディションで、うまく乗れてフィーリングもよかったですし、タイムも上り調子でした。雨のSUGOではうまく走れなかったのですが、その原因も分かっている、今日の予選で雨でも速く走れることが証明できたので非常に良かったです。決勝レースはドライコンディションでもウェットでも速く走れていますので、どちらになってもいつも通りスタートから全開でレースをしたいと思っています』

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

横江竜司が雨の予選でポールポジション!! 「笑顔で帰れるように精一杯走ります!」



ポールポジション : 2'24.827
#2 横江竜司
SP忠男レーシングチーム

朝から強い雨が降る天候となった公式予選日。最初の予選となるST600クラスが始まる頃には路面はハードウェットながら雨は小康状態だった。この状況の中で稲垣誠が積極的にタイムを刻んでいきトップ。タイムは2分28秒748。伊藤勇樹、篠崎佐助がそれに続く。雨でスリップするライダーも多く見られた。その中で横江竜司がコースイン直後にMCシケインで転倒を喫するが、すぐに再スタート。幸いマシンのダメージは少なく、2分25秒832のタイムを刻み、トップに浮上した。

その後、コース上の異物撤去のために赤旗で一旦中断、その前後から雨脚が強くなり始めた。再開後も雨は弱まらず、上位陣は様子見をするライダーも多い。それでもセッション終盤にかけて雨の中、各ライダーのタイムアップが見られた。岩崎哲朗、大崎誠之、岡村光矩らが雨の中でタイムアタックを展開したが、結局、セッション序盤にタイムを出した横江がポールポジションを獲得。岡村、大崎とフロントロウ、稲垣、伊藤、最終周回にタイムアップした中山真太郎が6番手に入った。

『前戦の岡山国際で足回りのセットアップが間違っていることに気付いて、今回は、それを修正するところからスタートしました。木曜、金曜とユーズドタイヤだったので、それほどタイムは出ていませんでしたが、いいフィーリングでした。予選では西コースの路面改修後に初めてウェットで走ったので最初は慎重に行こうと思っていたのですが、1周目に転倒してしまいました。チームからは散々、気をつけろと言われていたのですが…。このままでは戻れないと思い、幸いブレーキレバーが少し曲がっていただけだったので、そのまま再スタートしてタイムを出してからピットに戻ろうと思いついたタイムがポールタイムになりました。結果的に転倒がいきつかけになったのかもしれませんが(笑)。決勝はチーム全員で笑って帰れるように精一杯頑張るだけです』

MFJ Superbike Final Round MFJ Grand Prix in SUZUKA 01 - 02 November, 2014 公式予選結果



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走36台
●決勝(Race2)スタート進行/15:05(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	ヤマハ YSPレーシングチーム	YZF-R1	2'19.803
2	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	2'19.862
3	33	藤田 拓哉	PATLABOR DOGFIGHTR YAMAHA	YZF-R1	2'19.918
4	634	高橋 巧	MuSASHI RT/ハルクプロ	CBR1000RR	2'19.978
5	26	渡辺 一樹	TeamGREEN	ZX-10R	2'20.523
6	12	津田 拓也	ヨシムラスキスシエルアドバンス	GSX-R1000L4	2'20.977
7	87	柳川 明	TeamGREEN	ZX-10R	2'21.511
8	1	出口 修	シナジーフォース TRICK STAR	ZX-10R	2'22.683
9	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'23.108
10	20	安田 毅史	Honda鈴鹿レーシングチーム	CBR1000RR	2'25.315
以上 Q2にて決定:					
11	32	今野 由寛	MOTOMAPSUPPLY	GSX-R1000L4	2'21.333
12	31	野左根 航汰	NTSチームノリックヤマハ	YZF-R1	2'21.580
13	85	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	2'21.987
14	111	Josh Hook	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	2'23.017
15	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	2'23.573
16	39	酒井 大作	CONFIA Flex Motorrad39	S1000RR	2'24.257
17	135	寺本 幸司	Team Tras 135HP	S1000RR HP4	2'25.694
18	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	2'25.707
19	75	武石 伸也	CONFIA Flex Motorrad39	S1000RR	2'26.883
20	28	小島 一浩	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	2'27.148
21	16	中村 知雅	チーム トモサ	CBR1000RR	2'28.425
22	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	2'28.618
23	34	田村 武士	テイクアップOIRF	GSX-R1000	2'28.650
24	66	大内 実	DOGFISHオーテックスズカ	CBR1000RR	2'28.669
25	18	原田 洋孝	RS-ガレージハラダ姫路	ZX-10R	2'29.711
26	14	清水 郁巳	ホンダドリーム高崎B'WISE R-T	CBR1000RR	2'29.816
27	77	筒井 伸	DOGFISHオーテックスズカ	CBR1000RR	2'30.006
28	80	樋口 耕太	H.L.O RACING	GSX-R1000L3	2'30.200
29	21	西中 綱	HondaDREAM RT和歌山	CBR1000RR	2'30.320
30	54	大橋 靖洋	HondaブルーヘルメットMSC 熊本	CBR1000RR	2'30.924
31	41	清水 祐生	浜松チームタイタン	GSX-R1000	2'31.600
32	61	森 健祐	HondaブルーヘルメットMSC 熊本	CBR1000RR	2'33.069
33	95	今津 比呂志	プラスワンMCRT&ソーラーいちばん	ZX-10R	2'33.192
34	42	北折 淳	Honda鈴鹿会熊本レーシング	CBR1000RR	2'33.244
以上予選通過車両:					
35	30	井上 健志	炎R	CBR1000RR	2'36.526
36	69	犬木 翼	浜松チームタイタン	GSX-R1000	2'36.870
予選通過基準タイム (110%) 2'33.279					



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走34台
●決勝スタート進行/10:00(12周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	2	横江 竜司	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	2'24.827
2	33	岡村 光矩	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'25.533
3	3	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	2'25.537
4	6	稲垣 誠	AKENO'SPEED-MIC	YZF-R6	2'25.832
5	76	伊藤 勇樹	petronas.Hong Leong Yamaha	YZF-R6	2'25.934
6	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	2'26.610
7	7	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'27.123
8	12	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	2'27.182
9	56	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	2'27.287
10	104	國川 浩道	TOHORacing pwr by モリワキ	CBR600RR	2'27.390
11	21	中津原 尚宏	研友会栃木PGR+ATS	CBR600RR	2'27.525
12	24	小林 龍太	ミストレーサーwithHARC-PRO.	CBR600RR	2'27.951
13	14	近藤 湧也	GBSレーシング・YAMAHA	YZF-R6	2'28.044
14	13	高橋 颯	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'28.275
15	22	奥野 翼	AKENO SPEED	YZF-R6	2'28.360
16	18	日浦 大治朗	鈴鹿レーシングチーム	CBR600RR	2'28.365
17	16	宮嶋 佳毅	TOHORacing pwr by モリワキ	CBR600RR	2'29.556
18	9	佐野 優人	SRS-J with MORIWAKI	CBR600RR	2'29.810
19	82	田中 歩	AKENO SPEED	YZF-R6	2'30.296
20	65	Chalermopol POLAMAI	ヤマハタイランドRT	YZF-R6	2'31.080
21	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイワキ	YZF-R6	2'31.222
22	69	津田 一磨	WestPower SUZUKI	GSX-R600	2'31.453
23	29	豊田 浩史	D:REX Racing Triumph	DAYTONA675R	2'31.893
24	45	石塚 健	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	2'32.197
25	111	岸田 尊陽	Spec-A-SS FUSE Team kissy	MV F3	2'32.508
26	38	瀬崎 恭広	カメイレーシング&Teamまんだい	ZX-6R	2'32.650
27	64	矢田 栄一郎	RT OutRun	YZF-R6	2'32.665
28	61	中西 豊	立秋モーターズ&RC甲子園	YZF-R6	2'32.757
29	71	新庄 雅浩	ExpressHOUYU&AUTOBOY赤い3輪車	CBR600RR	2'33.329
30	36	松川 泰宏	MOTOBUM+SAI	CBR600RR	2'34.675
31	40	嶋川 直宏	D:REX Racing Team Triumph	DAYTONA675R	2'35.215
32	34	中本 中	リリカAMENA with OutRun	YZF-R6	2'36.186
33	72	川口 篤史	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR600RR	2'37.080
34	39	小倉 章太郎	HitmanRC甲子園 ヤマハ	YZF-R6	2'38.063
以上予選通過車両:					
予選通過基準タイム (110%) 2'39.309					



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走25台
●決勝スタート進行/14:00(15周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	72	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	2'23.400
2	2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-MFD6	2'24.990
3	77	井筒 仁康	Will-Raise Racing RS-ITOH	ZX-6R	2'25.064
4	5	岩田 悟	NTST.ProProject	NTS NH6	2'25.371
5	46	星野 知也	SYNCEEDGE 4413 Racing	HP6	2'25.654
6	73	亀谷 長純	MuSASHI RT/ハルクプロ	HP6	2'25.710
7	392	長尾 健吾	ミクニ テリー&カリ	GSX-R600	2'26.851
8	47	渡辺 一馬	テルル&Y!★KoharaRT	KALEX	2'27.109
9	634	浦本 修亮	MuSASHI RT/ハルクプロ	HP6	2'28.966
10	53	武田 雄一	Team KAGAYAMA	GSX-MFD6	2'30.044
11	24	原田 武人	グリーンクラブ能塚	ZX-6R	2'30.235
12	51	高橋 英倫	桜プロジェクト PITCREW&松戸F	MZX-6R	2'30.614
13	19	中本 翔	リリカAMENA with OutRun	YZF-R6	2'30.960
14	11	佐藤 太紀	TEAM PLUSONE	TSR2	2'31.064
15	13	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	2'31.566
16	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	2'32.778
17	15	中村 豊	MOTOBUM+SAI	CBR600RR	2'32.963
18	44	関口 太郎	Team TARO PLUSONE	TSR TSR2	2'36.337
19	7	Decha KRAISART	ヤマハタイランドRT	TYM-R6	2'36.841
20	91	山内 宏之	FTC&立秋MT&コルコバード	YZF-R6	2'37.491
以上予選通過車両:					
21	16	赤間 清	ミストレーサーwithHARC-PRO	HP6	2'39.730
22	26	小口 理	ALLMAN&OWracing	YZF-OWR6	2'40.075
23	48	西嶋 修	桜プロジェクト PITCREW&松戸F	MZX-6R	2'40.658
24	18	相馬 利心	TT45	MD600	計測できず
25	55	瀧美 心	テルル&Y!★KoharaRT	TSR2	計測できず
予選通過基準タイム (110%) 2'37.740					



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走37台
●決勝スタート進行/12:05(12周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	56	-	小室 旭	テルル&Y!★KoharaRT	NSF250R	2'33.966
2	33	Y	作本 輝介	Club PARIS RSC	NSF250R	2'35.082
3	1	-	山田 晋己	リベルトPLUSONE&ENDURANCE	NSF250R	2'35.395
4	10	-	菊池 寛幸	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	2'35.619
5	41	-	宇井 陽一	41Planning	TR004	2'35.695
6	67	Y	鳥羽 海渡	TEC2&TDA&NOBBY	NSF250R	2'36.184
7	31	Y	岩戸 亮介	Club PARIS RSC	NSF250R	2'36.509
8	7	-	徳留 真紀	Tome team PLUSONE	NSF250R	2'37.239
9	22	Y	中山 翔太	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	2'37.327
10	35	Y	伊達 悠太	犬の乳酸菌jp/ブリミティブR.T	NSF250R	2'37.377
11	27	Y	栗原 佳祐	CLUB HARC-PRO	NSF250R	2'37.833
12	98	Y	佐野 勝人	SRSJwithMORIWAKI	MD250GP3	2'38.078
13	634	Y	水野 涼	MuSASHI RT/ハルクプロ	NSF250R	2'38.270
14	30	-	岡崎 静夏	Kohara Racing	NSF250R	2'39.462
15	46	Y	長尾 健史	TEAMけんけんwithアポロ	NSF250R	2'39.600
16	88	-	Gerry Salim	Astra Honda Racing Team	NSF250R	2'39.695
17	18	-	瀧田 辰央	ウイダーHot Racing.iF	NSF250R	2'39.860
18	3	-	大久保 光	ウイダーHot Racing	NSF250R	2'40.133
19	15	Y	山元 聖	P.MU 7C HARC	NSF250R	2'40.286
20	32	-	山本 恭裕	広島ガジタレーシング&LRC	NSF250R	2'40.951
21	39	Y	伊藤 和輝	Kohara Racing	NSF250R	2'41.568
22	19	-	古市 右京	KTM RACING.ASPIRATION	RC250R	2'41.715
23	66	-	大内田 拓	DOGFISHオーテック・鈴鹿	NSF250R	2'42.150
24	45	Y	南本 宗一郎	P.MU 7C HARC	TSR TSR3	2'42.869
25	53	Y	中山 愛理	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	2'42.933
26	52	Y	高谷 純平	TECHNICAwithKUSHITANI西宮	NSF250R	2'43.431
27	55	Y	船田 俊希	FLEX Racing Team	NSF250R	2'43.681
28	72	-	岸田 慶一	FLEX Racing Team&MH OHARA	NSF250R	2'44.013
29	99	-	佐藤 正之	CLUBNEXT&MOTOBUM	NSF250R	2'44.872
30	36	Y	吉広 光	CLUBNEXT&MOTOBUM	TSR3A	2'44.960
31	14	-	安村 武志	犬の乳酸菌jp/ブリミティブR.T	NSF250R	2'44.969
32	93	-	畑中 要	FTR・タイヤナビ・機達藤住宅	NSF250R	2'45.999
33	40	-	川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	2'48.299
34	26	-	高杉 奈緒子	モトバムwithヒゴボタマス	NSF250R	2'48.560
以上予選通過車両:						
35	-	-	野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	2'50.078
36	-	-	小沢 良美	マダカ設計&モラルファ&GARAGE.M	NSF250R	2'51.630
37	-	-	足立 真衣	Honda ブルーヘルメットMSC.	NSF250R	2'56.105
Y=Youth Cup登録ライダー						
予選通過基準タイム (110%) 2'49.362						

INFORMATION



今年も全日本ロードレース完全無料放送!!

2014年シーズンも全日本ロードレース選手権はシリーズ全戦をレース開催8日後に「BS12 TwelIV(トゥエルビ)」で完全無料放送。現場ではカバーできなかったシーンや迫力のバトル、車載カメラによる映像など、あらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

最終戦MFJ-GP鈴鹿	11月10日(月)	20:00~20:54
2014レース総集編他	12月1日(月)	20:00~20:54

ますます充実するインターネット動画!!



コース監視カメラの映像と実況アナの音声で予選・決勝をライブ配信! スマホ対応です。



YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!



TV収録用高画質映像を決勝レース終了後約1時間後に配信!

<http://superbike.jp/>

<https://www.facebook.com/superbike.jp>